

第2回「実践！ロボット教育・研究フォーラム」進行プログラム
2010年8月3日開催 13:00～17:00（受付開始：12:30～）

講演者・講演タイトル・概要
<p>13:00～13:10 株式会社ゼットエムビー 代表取締役社長 谷口 恒 ご挨拶 / RoboCar®新展開-ITSソリューションの発表</p>
<p>13:10～14:00 基調講演 早稲田大学 大学院 情報生産システム研究科 教授 大貝 晴俊 「自律制御・隊列走行の研究課題とその取り組み ～RoboCarによる隊列走行～」</p> <p>北九州学術研究都市における自動車の自動運転・隊列走行研究会の発足とその研究について目標と研究課題について説明する。また、自動車の自動走行・隊列走行に向けた研究について小規模区域の自動走行シミュレーション、RoboCarによる自動走行・隊列走行の実験について紹介する。</p>
<p>14:05～14:35 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 科学システム事業部 新エネルギー・インフラ事業推進部 担当部長 菊池 聡 「新エネルギーと成長戦略 ～電気自動車からスマートグリッドまで」</p>
<p>14:35～15:05 金沢工業大学 工学部 ロボティクス学科 准教授 河合 宏之(登壇)、准教授 藤木 信彰、教授 南戸 秀仁、教授 佐藤 隆一 「RoboCar を用いた大学院モジュール統合科目教育」</p> <p>本学では大学院 1 年生を対象とした講義・演習・実験・発表を含むモジュール統合科目を開講している。本講演では、RoboCar を用いたモジュール統合科目の実施内容について紹介する。</p>
<p>15:15～15:45 日産自動車株式会社 人事部 日産ラーニングセンター エンジニアリングスクール 主査 小澤 一義 「e-nuvo WHEELを活用した若手エンジニア育成」</p> <p>自動車の制御に関わる若手エンジニアに対して、基本的な制御理論をシミュレーションと実機実験を通して、体験的に解り易く理解させる教育プログラムを紹介する。</p>
<p>15:45～16:15 日本ナショナルインスツルメンツ株式会社 事業開発部・ビジネスデベロップメントマネージャ ダシルバ アレックス 「LabVIEW x RoboCar ～自動車製造メーカにおける次世代モビリティの設計・開発の加速化へ向けて」</p> <p>ITSなどの分野において、時間を費やすべきは、組み込み言語などのプログラミングの習得ではなく、システム自体やアルゴリズムの開発です。NI製LabVIEWと組み込みボードを使用することで、プログラミングにかかる時間を短縮でき、本来の開発に時間を割くことが可能になります。本講演では、次世代モビリティの開発を加速させるためのツールを紹介する。</p>
<p>16:20～16:40 株式会社ゼットエムビー 営業部 部長 西村 明浩 「次世代モビリティ・電気自動車に求められる研究開発プラットフォーム・人材育成教材」</p> <p>次世代モビリティの実証実験等に活用できる1/10スケールロボットカーや実使用サイズの超小型電気自動車、また、そのベースとなるセンサ、モータ制御、組込みプログラミングなどの人材育成教材を紹介する。</p>
<p>17:00～18:30 懇親会</p>

会場：
機械産業記念事業財団（通称TEPIA / テピア）
フォーラム：会議室A、懇親会：会議室B（いずれも地下1階）
東京都港区北青山2-8-44
<http://www.tepia.jp/access/index.html>

お申し込み（事前のご登録をお願い致します）：
お名前、ご所属、お電話番号、メールアドレス、懇親会の参加/不参加を明記の上、メールでご連絡ください。
複数名でご参加される場合は、皆様の情報をお書きください。懇親会は参加費3,500円を当日申し受けます。
メールの場合：e-nuvo@zmp.co.jp FAXの場合：03-5802-6908

主催：株式会社ゼットエムビー
お問合せ：電話 03-5802-6901 担当 今西